



下総つうしん



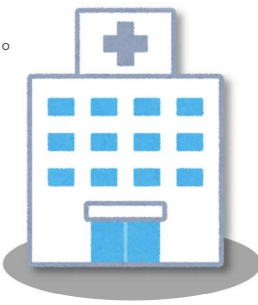
令和2年5月1日
医療法人社団 踏青会 下総病院
千葉県八千代市米本2472-2
047-488-2135

他科受診についてのお知らせ

木々の緑がまぶしい今日この頃、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの影響で外出自粛の要請が続いている中、屋内でじっとしているにも限界がありますね。今の季節、散歩をするだけでも良い気分転換になるかと思えます。感染予防を徹底し、ストレスをためないよう健やかに過ごしてください。

さて、当院は精神科の単科の病院であるため、病状によっては近隣の医療機関に他科受診を勧めることがあります。受診先の医療機関にて、担当の医師と治療方針の相談をすることとなりますので、他科受診時は御家族の付き添いをお願いしております。また、転院が必要と判断された場合は、保証書や同意書の記入等手続きがありますので、付き添いについてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

何かご不明点がありましたら、医療相談室までご相談ください。



Welcome to Simofusa Garden!!

さわやかな5月の風が心地よい季節になりました。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスによる報道が連日続き、不安な毎日を送られているかと思えます。大変な時をお過ごしかと思えますが、体調を崩されないようどうぞご自愛ください。



先月は、当院恒例の春祭りを予定していましたが、感染症予防のため、今年は中止とさせて頂きました。お祭りは毎年楽しみにしている患者さんも多く、中止の判断は私達職員も大変心苦しいものでした。ですが、中止になってしま



まった分も、来年無事開催できた際には、盛大なお祭りになりたいと思います。

お祭りは残念ながら中止となりました

が、当院の中庭にはきれいなお花が咲き、散歩する患者さんや職員の心を和ませてくれます。また、1病棟には手作りのかわいい鯉のぼりと5月人形が登場しました！患者さんだけでなく、私達職員にとっても病棟の季節ごとの飾り付けは、季節が変わるたびに「次は何だろう？」と楽しみのひとつになっています。



おすすめの映画と本の紹介

外出自粛のため、自宅で過ごす時間が増えました。自宅での過ごし方として、映画鑑賞や読書があります。今回はお勧めの映画と本を紹介します。

「閉鎖病棟 - それぞれの朝 -」 (映画)

精神科病院の患者さんの日常生活と院内で起きた事件をテーマにした映画。

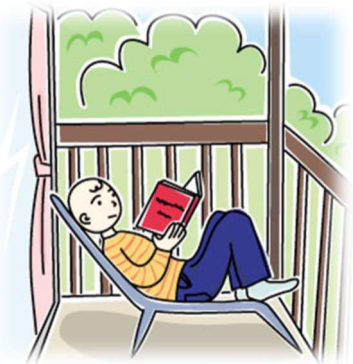
元死刑囚であった梶木秀丸（笑福亭鶴瓶）は死刑執行の後、奇跡的に生還。検察としては死刑を再執行せず、精神科病院に強制入院されることが決定した。

時は経ち、秀丸は患者のチュウ（綾野剛）や昭八（坂東龍汰）や由紀（小松菜奈）とも親しくなり、楽しく交流していたが、ある日、院内で事件が起こる。

原作：『閉鎖病棟』 帚木蓬生 著
監督・脚本：平山秀幸



「こころを病んで精神科病院に入院していました。」(コミックス)



精神科に入院歴のある方のコミックエッセイ。

当事者目線での精神科病院の日常を分かりやすく学ぶことができる本。

ご自身の入院生活を振り返る本書は、病棟内の一日の紹介から始まる。他の患者さんとの温かい交流に加え、病気で苦しんでいた頃も描写される。

著者：安藤たかゆき

出版社：KADOKAWA



衣替えのお願い

日中は暖かい日が増えましたが、朝夕はまだまだひんやりとした空気を感じますね。一日の中でも気温差がありますので、ご家族の皆様も体調管理に気を付けてください。

季節目が変わり目となりましたので、患者様の衣類の衣替えをお願いいたします。病院の中では、個人の衣類を収納できるスペースが限られていますので、季節に合わせた衣類の交換をお願いします。今年は新型コロナウイルスの感染対策もありますので、宅配便で送って頂ければと思います。体形が変わりサイズが合わない、衣類が痛んで交換が必要な場合もあります。必要時は病院からご家族に電話等でご連絡させていただくこともありますので、よろしくをお願いします。不明なことがありましたら、医療相談室または病棟までお電話ください。



5月に入り、ようやく過ごしやすい季節になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

連日の新型コロナウイルス報道で不要不急の外出自粛等、これまでの生活が送れない状況が続いており、体調を崩される人も増えているようです。当院でも、患者様、御家族の方々の御理解、御協力を得ながら感染防止対策に努めております。

一人でも感染者を増やさないためにも、皆さまにも感染の防止に配慮して頂きたいと思います。

今号でも少しだけ紹介させて頂きましたが、自宅で過ごす方法として、映画や本を見ながらのんびりと過ごすゴールデンウィークも良いかもしれませんね。